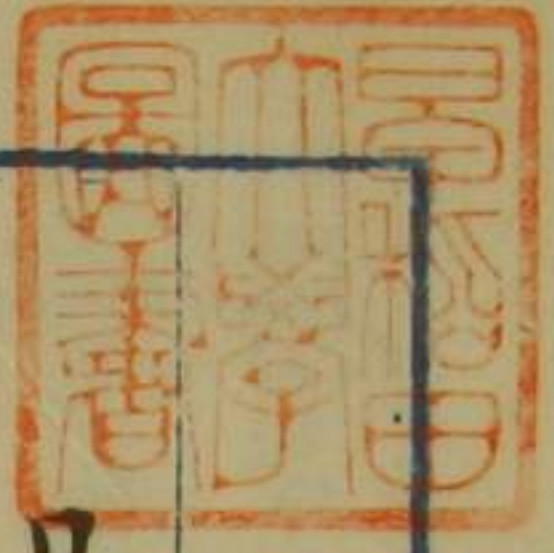


114
A 174



大正十一年四月
大隈侯爵寄贈

日本の海軍を算計し其編制を
在るコルコム、ホットリン、社中ニ送ル
テ電報し其旨を

秘密親披

八月廿一日、之ヲ收
八月廿六日、電報ニテ八月廿一日、之ヲ收
石、按、予等布、日本政府ト甲、兵、永、奏、進、シ

陸海軍省



速力あり陸軍の並に造工勉勵せし何月
何より既に引渡し得可キヤノ事ヲ電報
セヨ

郵便ヲ以日強及ヒ國由西本ノ共正ナ
ル旨あり送ル可シ○契約ノ派ヲ委ニシ
電報セヨ○政府ノ費用ニテ委細ノ支
ヲ差ヘヨ○正金ノ拂方ハ中ノ君ノ差ニ
備係ス

日本政府保護ノ為也君ト共ニ電
ヲ方スベキノ事ヲ受ケタレ日本「三

ストル公使ヲ指シ云ナランヲ請フスヘシ然レモ此等ノ國
ト秘密ノモノタレハ國人ニ此旨告知スベシ
○政府ハ此レトシノ律去テ所方セス依テ
日本ノ三ニストルニ此旨告知送テ示シヨ
地ニ送ルベシ

日本政府ノ旨告知ハ其可キ又速カニ此等所
以ト為サントスルニアリテ之ヲ所方ト為スヤ
吾代金拂フ可シ○此旨告知ヲ送セシム
ル為極メテ勉勵セヨ○須ク日本「三ニス
トル」ニ此旨告知ノ様指ヲ當カニ電報

各省也

セヨ 録 三 露 前 ノ 契 約 ノ 法 定 七 夕 日 一 八 之
ヲ 電 報 セヨ

著 者 孫 居